

II 環境にやさしい農業技術

4 非散布型製剤の利用

(1) ラノーテープ

テープ状の製剤（幅 5 cm）を施設内の作物の付近に、定植直後から設置することにより、コナジラミ類（オンシツコナジラミ、タバココナジラミ）の増殖を長期間抑制できる。

本剤はコナジラミ類の成虫が黄色に誘引される性質を利用して、有効成分（ピリプロキシフェン）を成虫に選択的に作用させるもので、テープに接触した雌成虫は有効成分を体内に取り込む。

成虫に対する殺虫効果はないが、テープに接触した後に産んだ卵は有効成分の作用によりふ化が阻害され、その結果として次世代以降のコナジラミ類の密度が抑制される。

非散布型の薬剤であり、一度、テープを張れば長期間にわたり省力的に難防除害虫であるコナジラミ類の防除ができ、また、花粉媒介昆虫や天敵類への影響が少なく、IPMの推進に有効な資材である。

表 ラノーテープの適用害虫

作物名	適用害虫名	使用量 (m ² /10a)	使用時期	使用方法	使用回数
野菜類(施設栽培)	コナジラミ類	10～50	栽培期間中	作物体の付近に設置する	1回
ポインセチア (施設栽培)	コナジラミ類	25～100			
花き類・観葉植物 (施設栽培)	コナジラミ類	50			
豆類(種実) (施設栽培)	コナジラミ類	10～50			

※登録農薬の最新情報は、必ず下記のホームページ等を参照してください。

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm